

午後七時三十分城北聯合會新名啓三、開會ノ辭ト
シテ螺旋鐵會社ハ橫暴ニモ突然私的干渉ニヨリ幹
部九名ヲ箠首セリ吾人ハ憤慨ニ堪ヘサルヲ以テ諸
君ハ批判ニヨリ解決セントスト述ハテ陣壇次ニ各弁士
交々社會ノ大勢及政府ハ勞働組合ヲ認メフニ今日
螺旋鐵會社ハ無智無暴ニモ組合幹部ヲ箠首セリ
勞働組合ハ其ノ兇戾ニ季シキ姑息ノ手段ヲ以テ破壊
セラル、予ニ非ス吾人ハ其ノ經過ヲ社會ニ發表シテ
會社ノ撲滅ヲ期セサルニカラスト例ニ依リ資本家攻撃
ヨリ社會組織ヲ既ヒ鞏固ナル團結ノ力ニヨリテ警察
官憲及資本家ト戦ヒ現代社會ヲ改造セラルカラス
ト應後組合員ノ弁論矯激ニ且ルニ及ヒ注意中止ヲ

演說要旨

岡東印刷勞働組合 岡 武

諸君其後東京螺旋鐵株式會社ノ幹部九名ヲ何事理連ナ
ク暴虐極マル資本家ノ処置トシテ箠首セラレタル報ヲ受ケ
減ニ憤慨ニ不堪其ノ如置リ組合ニ非スル挑戰リ勿論組
合破壊ノ陰謀ニ外ナニス然レテ現行法律ハ何事勞働者階
級ニ非スル生活ノ安定ヲ害ス不從ソテ生シガ爲ラ本質ニスル
組合ノ生スルハ自然ナリ其ノ意味ハ於テ生シタル組合ハ其我控
制アリテニルニ干渉ヲ膏メ遂ニ漸ク頑迷ナル政府並ニ社會モ
組合ヲ認メ過般我會長鈴木文治氏ヲシテ勞働代表ニ
送レリ今ヤ我組合ノ權威ハ破坏ノ勢ヲ以テ全國津々浦
々ニ至ルニテ風靡スルニ至レリ其ノ偉大ナル勢力ト奉表ニ